

新たな保険的手法に関するアンケート調査の概要について

平成 22 年 3 月
(社)全国農業共済協会

農業共済団体では、新たな保険的手法の検討のため、21 道県^{*}の 3,057 戸を対象に、地域単位の保険^{**}や収入保険に関する農家アンケートを実施しました。調査は、平成 21 年 11 月中旬～22 年 1 月までの期間、職員の面接聞き取りにより実施したものです。

調査結果概要は、以下のとおりですが、「最も関心が高かったのは作物単位の収入保険」、「地域単位保険についても、作物単位の収入保険とほぼ同じ 6 割程度が関心を持っている」などの結果を得ることができました。

農業共済団体では今後、更に分析を進めることとしておりますが、調査に御協力いただいた農家の方々には改めて御礼申し上げます。

(*) 調査は、米・麦・大豆の生産量が多い道県、果樹主産県において実施した。

(**) 「地域単位保険」とは、例えば「地域の統計データに基づき、地域の平均的な被害量(10アール当たり)を計算し、地域単位でみて被害があったと判定される場合に、共済金を支払う仕組み」であり、今回の調査では、農業共済組合等の単位を想定し回答してもらった。

1. 「地域単位保険」に係る農家の意識等調査結果

(1) 「地域単位保険」への加入について

「地域単位保険」への加入について、「加入を検討してもよい」、「加入を検討するつもりはない」、「現在の農業共済と同時に加入できるのであれば、加入を検討してもよい」(以下、「農業共済と同時に加入」という。)、「わからない」から選択してもらった。

「加入を検討してもよい」又は「農業共済と同時に加入」(以下、「加入を検討してもよい等」という。)と回答した割合は 6 割程度で、いずれの経営形態でもほぼ同じ割合となっている。

このうち、「農業共済と同時に加入」を選択した農家は、「米・麦・大豆経営」(679 戸・30.3%)及び「北海道畑作経営」(80 戸・36.4%)では「加入を検討してもよい」を選択した農家より多い。

表1 地域単位保険への加入について

(単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		小計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
加入を検討してもよい	578	25.8	205	34.3	44	20.0	827	27.1
加入を検討するつもりはない	537	24.0	115	19.2	47	21.4	699	22.9
農業共済と同時に加入	679	30.3	143	23.9	80	36.4	902	29.5
わからない	435	19.4	135	22.6	49	22.3	619	20.2
品目ごとに異なる回答	1	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
無回答	9	0.4	0	0.0	0	0.0	9	0.3
+	1,257	56.1	348	58.2	124	56.4	1,729	56.6
合計	2,239	100.0	598	100.0	220	100.0	3,057	100.0

注)「品目ごとに異なる回答」とは、同一農家で作物(共済目的の種類ごと)に異なる回答があった農家である。

(2)「地域単位保険」の特徴への関心事項

地域単位保険が持つ8つの特徴について、「非常に望ましい」～「非常に望ましくない」から選択してもらった。

それを、「(A)加入を検討してもよい」～「(D)わからない」の別に見たところ、「(A)(C)加入を検討してもよい等」では、「補償割合の引上げを行う」と「共済掛金の引下げを行う」について約8割が「非常に望ましい」又は「望ましい」としている。

逆に「(B)加入するつもりはない」では、8割近くが「加入者ごとの被害状況は共済金に反映されない」と「ほ場ごとの被害状況は共済金に反映されない」について、「望ましくない」又は「非常に望ましくない」と回答している。また、約7割が「共済金支払時期が翌年春以降になる」を「望ましくない」又は「非常に望ましくない」と回答した。

表2 「地域単位保険」の特徴への関心事項

(単位：戸)

		右の「地域単位保険」 の特徴について	補償割 合の引き 上げを行 う。	共済掛 金の引き 下げを行 う。	加入者 ごとの被 害状況は 共済金に 反映され ない。	ほ場ご との被害 状況は共 済金に反 映されな い。	損害通 知は不 要。	損害評 価を実施 しない。	共済金 支払時期 が翌年春 以降にな る。	基準単 収が高い 加入者の 共済金を 多くする。
地域単位保険の加入について	(A) 加入を検討してもよい	(1)非常に望ましい	466	501	65	68	223	170	36	173
		(2)望ましい	247	226	187	195	249	226	232	322
		(1)+(2)	713	727	252	263	472	396	268	495
		(3)どちらともいえない	89	80	237	229	148	171	151	200
		(4)望ましくない	17	13	250	257	164	210	274	101
		(5)非常に望ましくない	1	3	74	63	32	38	123	19
		(4)+(5)	18	16	324	320	196	248	397	120
		品目ごとに異なる回答	1	0	1	1	1	1	0	0
		無回答	6	4	13	14	10	11	11	12
		合計	827	827	827	827	827	827	827	827
	(B) 加入するつもりはない	(1)非常に望ましい	214	285	8	9	75	54	9	71
		(2)望ましい	191	193	31	37	116	87	63	191
		(1)+(2)	405	478	39	46	191	141	72	262
		(3)どちらともいえない	195	143	96	107	166	146	92	211
		(4)望ましくない	58	48	296	283	227	285	288	145
		(5)非常に望ましくない	26	15	259	254	95	112	233	65
		(4)+(5)	84	63	555	537	322	397	521	210
		品目ごとに異なる回答	1	1	1	1	1	1	0	0
		無回答	14	14	8	8	19	14	14	16
		合計	699	699	699	699	699	699	699	699
(C) 農業共済と同時に加入	(1)非常に望ましい	391	446	24	25	151	111	24	117	
	(2)望ましい	293	266	111	116	187	168	170	306	
	(1)+(2)	684	712	135	141	338	279	194	423	
	(3)どちらともいえない	171	150	255	245	223	213	147	290	
	(4)望ましくない	35	28	344	354	263	315	332	133	
	(5)非常に望ましくない	5	2	152	144	65	83	216	42	
	(4)+(5)	40	30	496	498	328	398	548	175	
	品目ごとに異なる回答	0	0	0	1	0	0	0	0	
	無回答	7	10	16	17	13	12	13	14	
	合計	902	902	902	902	902	902	902	902	
(D) わからない	(1)非常に望ましい	238	289	14	12	75	46	12	61	
	(2)望ましい	183	172	60	63	134	107	80	174	
	(1)+(2)	421	461	74	75	209	153	92	235	
	(3)どちらともいえない	170	138	195	203	191	210	148	272	
	(4)望ましくない	16	13	240	243	177	198	228	82	
	(5)非常に望ましくない	4	1	104	88	35	49	144	23	
	(4)+(5)	20	14	344	331	212	247	372	105	
	品目ごとに異なる回答	0	0	0	1	0	0	0	0	
	無回答	8	6	6	9	7	9	7	7	
	合計	619	619	619	619	619	619	619	619	
(A)+(C)	(1)非常に望ましい	857	947	89	93	374	281	60	290	
	(2)望ましい	540	492	298	311	436	394	402	628	
	(1)+(2)	1,397	1,439	387	404	810	675	462	918	
	(3)どちらともいえない	260	230	492	474	371	384	298	490	
	(4)望ましくない	52	41	594	611	427	525	606	234	
	(5)非常に望ましくない	6	5	226	207	97	121	339	61	
	(4)+(5)	58	46	820	818	524	646	945	295	
	品目ごとに異なる回答	1	0	1	2	1	1	0	0	
	無回答	13	14	29	31	23	23	24	26	
	合計	1,729	1,729	1,729	1,729	1,729	1,729	1,729	1,729	

表3 「地域単位保険」の特徴への関心事項

(単位：%)

		右の「地域単位保険」 の特徴について	補償割 合の引き 上げを行 う。	共済掛 金の引き 下げを行 う。	加入者 ごとの被 害状況は 共済金に 反映され ない。	ほ場ご との被害 状況は共 済金に反 映されな い。	損害通 知は不 要。	損害評 価を実施 しない。	共済金 支払時期 が翌年春 以降にな る。	基準単 収が高い 加入者の 共済金を 多くする。
地域単位保険の加入について	(A) 加入を検討しても よい	(1)非常に望ましい	56.3	60.6	7.9	8.2	27.0	20.6	4.4	20.9
		(2)望ましい	29.9	27.3	22.6	23.6	30.1	27.3	28.1	38.9
		(1)+(2)	86.2	87.9	30.5	31.8	57.1	47.9	32.4	59.9
		(3)どちらともいえない	10.8	9.7	28.7	27.7	17.9	20.7	18.3	24.2
		(4)望ましくない	2.1	1.6	30.2	31.1	19.8	25.4	33.1	12.2
		(5)非常に望ましくない	0.1	0.4	8.9	7.6	3.9	4.6	14.9	2.3
		(4)+(5)	2.2	1.9	39.2	38.7	23.7	30.0	48.0	14.5
		品目ごとに異なる回答	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
		無回答	0.7	0.5	1.6	1.7	1.2	1.3	1.3	1.5
		合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	(B) 加入するつもりは ない	(1)非常に望ましい	30.6	40.8	1.1	1.3	10.7	7.7	1.3	10.2
		(2)望ましい	27.3	27.6	4.4	5.3	16.6	12.4	9.0	27.3
		(1)+(2)	57.9	68.4	5.6	6.6	27.3	20.2	10.3	37.5
		(3)どちらともいえない	27.9	20.5	13.7	15.3	23.7	20.9	13.2	30.2
		(4)望ましくない	8.3	6.9	42.3	40.5	32.5	40.8	41.2	20.7
		(5)非常に望ましくない	3.7	2.1	37.1	36.3	13.6	16.0	33.3	9.3
		(4)+(5)	12.0	9.0	79.4	76.8	46.1	56.8	74.5	30.0
		品目ごとに異なる回答	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
		無回答	2.0	2.0	1.1	1.1	2.7	2.0	2.0	2.3
		合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	(C) 農業共済と同時に 加入	(1)非常に望ましい	43.3	49.4	2.7	2.8	16.7	12.3	2.7	13.0
		(2)望ましい	32.5	29.5	12.3	12.9	20.7	18.6	18.8	33.9
		(1)+(2)	75.8	78.9	15.0	15.6	37.5	30.9	21.5	46.9
		(3)どちらともいえない	19.0	16.6	28.3	27.2	24.7	23.6	16.3	32.2
		(4)望ましくない	3.9	3.1	38.1	39.2	29.2	34.9	36.8	14.7
		(5)非常に望ましくない	0.6	0.2	16.9	16.0	7.2	9.2	23.9	4.7
		(4)+(5)	4.4	3.3	55.0	55.2	36.4	44.1	60.8	19.4
		品目ごとに異なる回答	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	0.8	1.1	1.8	1.9	1.4	1.3	1.4	1.6
		合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	(D) わからない	(1)非常に望ましい	38.4	46.7	2.3	1.9	12.1	7.4	1.9	9.9
		(2)望ましい	29.6	27.8	9.7	10.2	21.6	17.3	12.9	28.1
		(1)+(2)	68.0	74.5	12.0	12.1	33.8	24.7	14.9	38.0
		(3)どちらともいえない	27.5	22.3	31.5	32.8	30.9	33.9	23.9	43.9
		(4)望ましくない	2.6	2.1	38.8	39.3	28.6	32.0	36.8	13.2
		(5)非常に望ましくない	0.6	0.2	16.8	14.2	5.7	7.9	23.3	3.7
		(4)+(5)	3.2	2.3	55.6	53.5	34.2	39.9	60.1	17.0
		品目ごとに異なる回答	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	1.3	1.0	1.0	1.5	1.1	1.5	1.1	1.1
		合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(A)+(C)	(1)非常に望ましい	49.6	54.8	5.1	5.4	21.6	16.3	3.5	16.8	
	(2)望ましい	31.2	28.5	17.2	18.0	25.2	22.8	23.3	36.3	
	(1)+(2)	80.8	83.2	22.4	23.4	46.8	39.0	26.7	53.1	
	(3)どちらともいえない	15.0	13.3	28.5	27.4	21.5	22.2	17.2	28.3	
	(4)望ましくない	3.0	2.4	34.4	35.3	24.7	30.4	35.0	13.5	
	(5)非常に望ましくない	0.3	0.3	13.1	12.0	5.6	7.0	19.6	3.5	
	(4)+(5)	3.4	2.7	47.4	47.3	30.3	37.4	54.7	17.1	
	品目ごとに異なる回答	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
	無回答	0.8	0.8	1.7	1.8	1.3	1.3	1.4	1.5	
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

2. 「作物単位型の収入保険」に係る農家の意識等調査結果

(1) 「作物単位型の収入保険」への興味について

「作物単位型の収入保険」への興味について、「興味がある」～「どちらともいえない」の3つから選択してもらったところ、「興味がある」と回答した農家の割合は6割を超えている。

経営形態別では、「興味がある」と回答した農家の割合は、「果樹経営」が67.4%（403戸）、「北海道畑作経営」が68.6%（151戸）で、「米・麦・大豆経営」の57.7%（1,293戸）に比べて10ポイント程度高くなっている。

表4 「作物単位型の収入保険」への興味について

(単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		小計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
興味がある	1,293	57.7	403	67.4	151	68.6	1,847	60.4
興味がない	368	16.4	84	14.0	18	8.2	470	15.4
どちらともいえない	571	25.5	111	18.6	51	23.2	733	24.0
無回答	7	0.3	0	0.0	0	0.0	7	0.2
合計	2,239	100.0	598	100.0	220	100.0	3,057	100.0

(2) 「作物単位型の収入保険」に興味を持った理由

作物単位型の収入保険に興味を持った理由を選んでもらったところ、最も回答が多かったのは、「収穫量が減少し、かつ価格も低下するような大幅な収入減少が生じたときに対応できるから」（627戸・33.9%）だったが、「収穫量が増加しても、価格が低下して収入が減少する場合に対応できるから」（528戸・28.6%）とそれほど大きな差はなかった。

表5 「作物単位型の収入保険」に興味を持った理由 (単位：戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		小計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
毎年の作物(樹種)収入の変動が小さくなるから。	328	25.4	80	19.9	38	25.2	446	24.1
収穫量が減少し、かつ価格も低下するような大幅な収入減少が生じたときに対応できるから。	479	37.0	89	22.1	59	39.1	627	33.9
収穫量が増加しても、価格が低下して収入が減少する場合に対応できるから。	298	23.0	193	47.9	37	24.5	528	28.6
収穫量の毎年の変動が小さく、価格低下への補償に関心があるから。	143	11.1	35	8.7	17	11.3	195	10.6
その他	5	0.4	4	1.0	0	0.0	9	0.5
品目ごとに異なる回答	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.1
回答無し	40	3.1	1	0.2	0	0.0	41	2.2
合計	1,293	100.0	403	100.0	151	100.0	1,847	100.0

(3) 「作物単位型の収入保険」に興味を持たなかった理由

「 収穫量の減少が生じても、価格次第で共済金が減額される、あるいは支払われない可能性があるから」の割合が最も高くなっており、それはいずれの経営形態でも同じ傾向であった。また、「果樹経営」では「 収穫量の毎年の変動が大きいので、現在の農業共済で十分であるから」の割合が、それとほぼ同じとなっている(20戸・23.8%)のが特徴である。

表6 「作物単位型の収入保険」に興味を持たなかった理由

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
設定される基準収入によっては、十分な収入が確保できるかどうか分からないから。	55	14.9	14	16.7	4	22.2	73	15.5
収穫量の減少が生じても、価格次第で共済金が減額される、あるいは支払われない可能性があるから。	108	29.3	19	22.6	7	38.9	134	28.5
収穫量の毎年の変動が大きいので、現在の農業共済で十分であるから。	54	14.7	20	23.8	5	27.8	79	16.8
共済金の支払時期が翌年(果樹については翌年春)になるかもしれないから。	23	6.3	4	4.8	1	5.6	28	6.0
これまでの方式とは異なるので、支払われる共済金の額が予想しにくいから。	70	19.0	10	11.9	0	0.0	80	17.0
その他	39	10.6	14	16.7	1	5.6	54	11.5
無回答	19	5.2	3	3.6	0	0.0	22	4.7
合計	368	100.0	84	100.0	18	100.0	470	100.0

(4) 「作物単位型収入保険」の特徴について

「作物単位型収入保険」が持つ2つの特徴について、「作物単位型収入保険」に「興味がある」と回答した農家に「収入保険である以上、全く問題がない」～「その他」から選択してもらった。

「収穫量の減少が生じて、価格の上昇によって、共済金が減額される、あるいは支払われない」ことについては、「収入保険である以上、全く問題がない」又は「収入保険である以上、やむを得ない」と回答した農家は、約7割となっている。(表7参照)

「収穫時の販売価格の決め方によっては、共済金の支払時期が翌年になる可能性」については、「全く問題がない」又は「やむを得ない」との回答がおよそ半数だが、一方で「加入に当たり検討すべき点である」も4割となっている。(表8参照)

表7 「収穫量の減少が生じて、価格の上昇によって、共済金が減額されるあるいは支払われない」ことについて (単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
収入保険である以上、全く問題がない。	171	13.2	76	18.9	18	11.9	265	14.3
収入保険である以上、やむを得ない。	709	54.8	238	59.1	84	55.6	1,031	55.8
収入保険とはいえ、加入に当たり検討すべき点である。	356	27.5	73	18.1	45	29.8	474	25.7
その他	6	0.5	5	1.2	1	0.7	12	0.6
品目ごとに異なる回答	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.1
回答無し	51	3.9	10	2.5	3	2.0	64	3.5
合計	1,293	100.0	403	100.0	151	100.0	1,847	100.0

表8 「収穫時の販売価格の決め方によっては、共済金の支払時期が翌年になる可能性」について (単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
全く問題がない。	63	4.9	54	13.4	5	3.3	122	6.6
やむを得ない。	571	44.2	240	59.6	49	32.5	860	46.6
加入に当たり検討すべき点	574	44.4	98	24.3	85	56.3	757	41.0
その他	41	3.2	8	2.0	11	7.3	60	3.2
回答無し	44	3.4	3	0.7	1	0.7	48	2.6
合計	1,293	100.0	403	100.0	151	100.0	1,847	100.0

4. 「経営単位型の収入保険」に係る農家の意識等

(1) 「経営単位型の収入保険」への興味について

「経営単位型の収入保険」への興味について、「興味がある」～「どちらともいえない」の3つからいずれかを選択してもらったところ、「興味がない」と回答した農家の割合が36.5%（1,116戸）でやや高くなっているものの、「興味がある」や「どちらともいえない」とそれほど大きな差はなかった。

表9 「経営単位型の収入保険」への興味について（単位：戸、%）

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
興味がある	607	27.1	213	35.6	93	42.3	913	29.9
興味がない	862	38.5	197	32.9	57	25.9	1,116	36.5
どちらともいえない	750	33.5	188	31.4	70	31.8	1,008	33.0
無回答	20	0.9	0	0.0	0	0.0	20	0.7
合計	2,239	100.0	598	100.0	220	100.0	3,057	100.0

(2) 「経営単位型の収入保険」に興味を持った理由

「経営単位型の収入保険」に興味を持った理由は、「毎年の経営全体でみた農業収入の変動が小さくなるから」が6割程度で最も多く、次に「収穫量の毎年の変動が小さく、価格低下による収入減少に対する補償に関心があるから」が約3割となっている。

表10 「経営単位型の収入保険」に興味を持った理由（単位：戸、%）

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
毎年の経営全体でみた農業収入の変動が小さくなるから。	342	56.3	136	63.8	60	64.5	538	58.9
補償割合の引き上げが行われるから。	42	6.9	16	7.5	11	11.8	69	7.6
共済掛金の引き下げが行われるから。	37	6.1	11	5.2	4	4.3	52	5.7
収穫量の毎年の変動が小さく、価格低下による収入減少に対する補償に関心があるから。	176	29.0	49	23.0	18	19.4	243	26.6
その他	4	0.7	1	0.5	0	0.0	5	0.5
回答無し	6	1.0	0	0.0	0	0.0	6	0.7
合計	607	100.0	213	100.0	93	100.0	913	100.0

(3) 「経営単位型の収入保険」に興味がない理由

「経営単位型の収入保険」に興味がない理由を「設定される基準収入によっては、十分な農業収入が確保できるかどうかかわからないから」～「その他」の中から選んでもらったところ、「作物(樹種)ごとの収入の増加や減少が作物間で相殺され、共済金の支払機会が少なくなるから」の割合が3割程度となっており、いずれの経営形態でもほぼ同じ割合となっている。

表11 「経営単位型の収入保険」に興味を持てなかった理由 (単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
設定される基準収入によっては、十分な農業収入が確保できるかどうかかわからないから。	95	11.0	26	13.2	9	15.8	130	11.6
作物(樹種)ごとの収入の増加や減少が作物間で相殺され、共済金の支払機会が少なくなるから。	234	27.1	56	28.4	19	33.3	309	27.7
作物(樹種)別に収支計画を立てており、作物別の補償の方が望ましいから。	155	18.0	29	14.7	14	24.6	198	17.7
特定の作物(樹種)からの収入の割合が非常に大きく、作物(樹種)別の補償の方が望ましいから。	164	19.0	37	18.8	5	8.8	206	18.5
米・麦・大豆(果樹)以外の作物(樹種)からの収入の割合が大きく、その部分の補償が行われないから。	54	6.3	5	2.5	0	0.0	59	5.3
収穫量の毎年の変動が大きいため、現在の農業共済で十分であるから。	61	7.1	19	9.6	5	8.8	85	7.6
共済金の支払時期が翌年(果樹については翌年春など)になるかもしれないから。	30	3.5	1	0.5	4	7.0	35	3.1
その他	47	5.5	16	8.1	0	0.0	63	5.6
無回答	22	2.6	8	4.1	1	1.8	31	2.8
合計	862	100.0	197	100.0	57	100.0	1,116	100.0

(4) 「支払機会が作物単位型に比べ少なくなる」ことについて

「作物ごとの収入の増加、減少は相殺されるため、共済金の支払機会が作物単位型に比べ少なくなる」ことについて聞いたところ、「収入保険である以上、全く問題がない」又は「収入保険である以上、やむを得ない」を選択した割合が7割程度となっている。

表12 支払機会が作物単位型に比べ少なくなること (単位:戸、%)

	米・麦・大豆経営		果樹経営		北海道畑作経営		合計	
	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合	戸数	左の割合
収入保険である以上、全く問題がない。	75	12.4	35	16.4	9	9.7	119	13.0
収入保険である以上、やむを得ない。	324	53.4	127	59.6	43	46.2	494	54.1
加入に当たり検討すべき点	194	32.0	50	23.5	40	43.0	284	31.1
その他	3	0.5	0	0.0	0	0.0	3	0.3
回答無し	11	1.8	1	0.5	1	1.1	13	1.4
合計	607	100.0	213	100.0	93	100.0	913	100.0

5. 各保険への加入意思・興味の間関

(1) 「地域単位保険」と「収入保険」への加入意思・興味

「地域単位保険」に「 加入を検討してもよい等」と回答した割合は、「作物単位型収入保険」に興味があると回答した農家の64.1%（1,847戸のうち1,184戸）、「経営単位型収入保険」に興味があると回答した農家の69.2%（913戸のうち632戸）と、ほぼ同じ割合となっている。

表13-1 「地域単位保険」と「作物単位型収入保険」の加入意思・興味

(単位:戸)

		作物単位型収入保険について				
		興味がある	興味がない	どちらともいえない	無回答	合計
地域単位保険	加入を検討してもよい	612	81	132	2	827
	加入を検討するつもりはない	348	204	147	0	699
	農業共済と同時に加入	572	103	224	3	902
	わからない	310	81	226	2	619
	品目ごとに異なる回答	1	0	0	0	1
	無回答	4	1	4	0	9
	合計	1,847	470	733	7	3,057
+	1,184	184	356	5	1,729	

(単位:%)

地域単位保険	加入を検討してもよい	33.1	17.2	18.0	28.6	27.1
	加入を検討するつもりはない	18.8	43.4	20.1	0.0	22.9
	農業共済と同時に加入	31.0	21.9	30.6	42.9	29.5
	わからない	16.8	17.2	30.8	28.6	20.2
	品目ごとに異なる回答	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0.2	0.2	0.5	0.0	0.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(+)/合計	64.1	39.1	48.6	71.4	56.6	

表13-2 「地域単位保険」と「経営単位型収入保険」の加入意思・興味

(単位:戸)

		経営単位型収入保険について				
		興味がある	興味がない	どちらともいえない	無回答	合計
地域単位保険	加入を検討してもよい	323	263	235	6	827
	加入を検討するつもりはない	148	362	186	3	699
	農業共済と同時に加入	309	308	279	6	902
	わからない	131	179	305	4	619
	品目ごとに異なる回答	0	1	0	0	1
	無回答	2	3	3	1	9
	合計	913	1,116	1,008	20	3,057
+	632	571	514	12	1,729	

(単位:%)

地域単位保険	加入を検討してもよい	35.4	23.6	23.3	30.0	27.1
	加入を検討するつもりはない	16.2	32.4	18.5	15.0	22.9
	農業共済と同時に加入	33.8	27.6	27.7	30.0	29.5
	わからない	14.3	16.0	30.3	20.0	20.2
	品目ごとに異なる回答	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	無回答	0.2	0.3	0.3	5.0	0.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(+)/合計	69.2	51.2	51.0	60.0	56.6	

(2) 「作物単位型収入保険」と「経営単位型収入保険」への興味

「作物単位型収入保険」に「興味がある」と回答した農家 1,847 戸のうち、「経営単位型収入保険」に興味があると回答した農家はおよそ 4 割の 788 戸となっている。

表 1 4 「作物単位型収入保険」と「経営単位型収入保険」への興味

(単位:戸)

		経営単位型収入保険について				
		興味がある	興味がない	どちらともいえない	無回答	合計
作物単位型	興味がある	788	626	424	9	1,847
	興味がない	27	343	97	3	470
	どちらともいえない	97	146	487	3	733
	わからない	0	0	0	0	0
	無回答	1	1	0	5	7
	合計	913	1,116	1,008	20	3,057

(単位:%)

		経営単位型収入保険について				
		興味がある	興味がない	どちらともいえない	無回答	合計
作物単位型	興味がある	42.7	33.9	23.0	0.5	100.0
	興味がない	5.7	73.0	20.6	0.6	100.0
	どちらともいえない	13.2	19.9	66.4	0.4	100.0
	わからない	-	-	-	-	-
	無回答	14.3	14.3	0.0	71.4	100.0
	合計	29.9	36.5	33.0	0.7	100.0

6. むすびに代えて

(1) 地域単位保険

地域単位保険については、6 割近い農家が加入に関心を持っていることが明らかとなった。そのうち半数は、「農業共済と同時に加入」を選択している農家である。これは、今回の調査で最も関心の高かった、作物単位の収入保険に興味があると回答した農家数とあまり変わらない割合である。

地域単位保険に関心を持っている農家の半数は、「基準単収が高い加入者の共済金を多くする」ことを望ましいと考えており、地域単位保険に関心を持たない農家は、加入者ごとの被害が反映さ

れないことをその最大の理由にあげている。これらは、地域単位保険を設計する際には、個々の生産や被害状況の反映を検討する必要があることを意味していると考えられる。

(2) 収入保険

収入保険については、作物単位型と経営単位型について調査した。諸外国においても、「複数の作物を組み合わせた収量建ての経営単位型作物保険やアメリカの経営単位型収入保険」の加入が低いように、経営単位型の収入保険に「興味がある」と答えた農家が3分の1程度であった。

一方、作物単位型収入保険については、興味を持った理由として最も多かったのは、収穫量と価格の両方が低下するような「大幅な収入減少時の対応」であった。また、支払い時期については、果樹経営と北海道畑作経営で考え方が異なる傾向が見られた。

これら、今回明らかとなった点は、更に経営形態別等に分析を深める必要があると考えられる。